

2025年1月27日

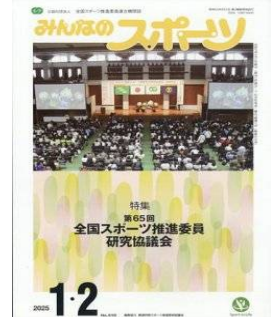
『みんなのスポーツ』12月号 (No.509) から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の1・2月合併号は「**第65回全国スポーツ推進委員研究協議会**」特集号です。

私の視点で気づいたこと・感じた事、参考になる点を2点記載します。



(1)新年のご挨拶 課題となっている部活動の地域移行について、地域移行から「地域連携」、さらには「地域展展開」へと用語変更を検討しているとのこと。12月の理事会において事務局からの情報提供では、教育委員会が中心になって、種目を絞り・近隣地域数学校をまとめて取り組み始めている。前年に比べ種目も増やしながら取り組みが進んでいる、これからも情報収集を図るとともに協力できることがあれば協議会で討議し取り組んでいきたいと考えています。

(2) Special Interview 特別講演 スポーツの力と地域社会 増田明美さん この記事を読んで感じたこと・全国大会の会場で聞いたことを含め、増田さんは本当に飾らない言葉で話をしてくださるので、つつい話に引き込まれ納得することが多い。具体的な事例がポンポン出てくるため自分でもできるな、これはこうすれば等考える機会も多い。
また、**グッドマン博士の言葉「失ったものを数えるな。今あるものを最大限いかしましょう」**はそうだと思います。私たち過去は変えられないが、未来は変えられると思います。

11月の下旬にスポーツ推進委員仲間から障害のある方の水泳大会のお手伝いの誘いを受けて参加しました。そこで見たのは一人ひとりが一生懸命で輝いていたのが印象に残りました。色々な関係ある方がそれぞれの立場で取り組まれました。

今月号では2つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もいるかもしれませんが、気づいたことでできることから始めて（行動）みませんか？

* **本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがある**ように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合と横須賀ではこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど感ずると思います。是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上